

SDNET-300 先見情報No.59

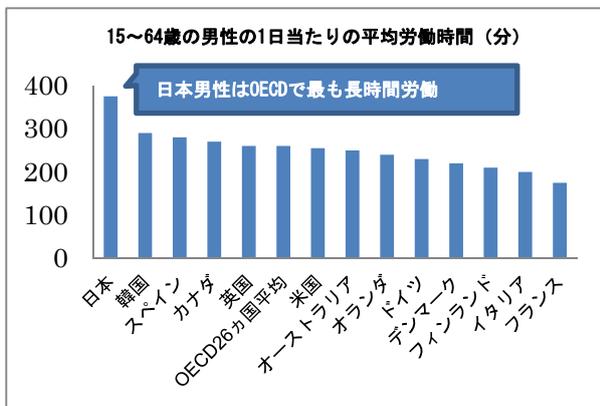
「時代は健康経営」 — エクセレントカンパニーの新条件 —

「健康管理は従業員本人の責任」。そんな前時代的な経営は、もはや通用しない。

従業員の健康こそ企業の競争力を高める経営の最重要課題と位置付け、その増進や維持を図る「健康経営」に取り組む企業が増えている。

活力ある働き方を実現する「戦略投資」として、健康経営を推進することは、生産性を高め、優れた人材を集めるエクセレントカンパニーの新条件だ。

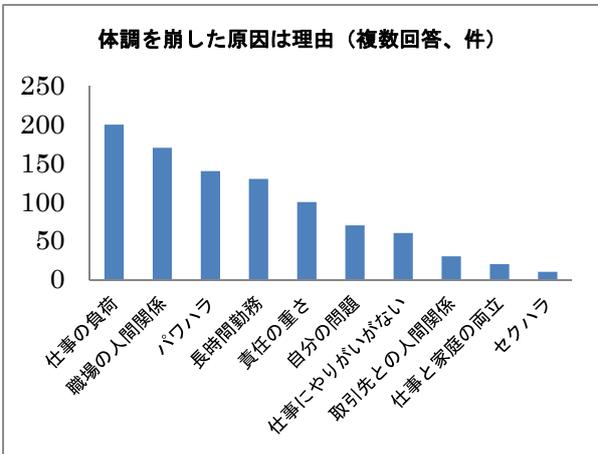
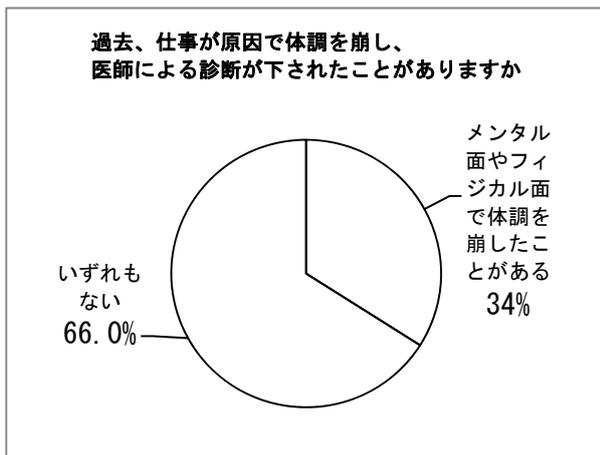
■従業員の 34% が「病」に — 「健康ブラック企業」の間



1. 時間労働が諸悪の根源

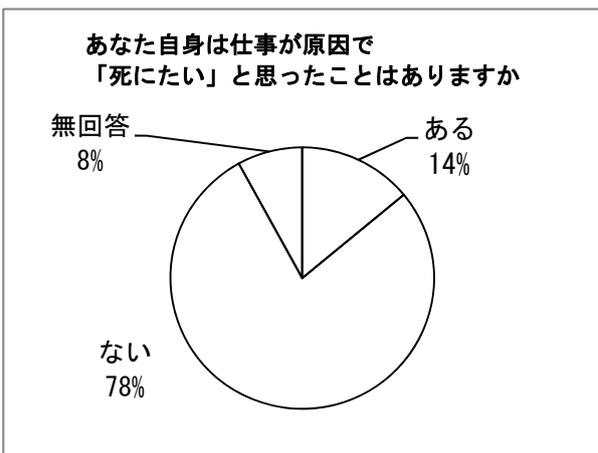
「従業員が精神や肉体を病んでしまう諸悪の根源は、『長時間労働』にある。

長時間労働は職場の秩序を崩壊し、生産性を低下させるだけでは済まない。近年、増えているのが労災申請・認定の数だ。精神障害を患って労災申請するケースは直近の 5 年間で右肩上がりの増加を続けている



2. 企業不祥事のその後

大切な従業員の命を奪うようなことがあっても轍を踏んでしまう。目先の利益のために過度のノルマを課し、長時間労働を従業員に強いる。そんな企業は持続可能な会社とは言えない。中長期的には労働生産性がどんどん下がり、人材も集まらなくなる。



■健康経営に取り組むことは、日本の課題解決につながる

少子高齢化が進み、労働力不足に直面する日本において、長時間労働に依存する働き方の弊害が鮮明になってきた。労働生産性低下と同時に、女性や障害者、要介護者を家族に持つ人など、多様な人材の労働市場への参画を阻む要因となっているからだ。さらに、従業員の健康を配慮しないブラック企業は、人手不足感が高まる中、人材の確保もままならなくなってきた。

国全体に目を向ければ、健康な働き手が増えることで、今後ますます膨らむことが確実な医療費の抑制にもつながる。もちろん、企業側も医療保険費負担を削減できる。

健康経営の実践は、日本が抱える様々な問題の解決に寄与する。

■競争力に直結する従業員の健康。

働き方の転換が求められる今こそ、「当たり前」の経営を取り戻す好機だ。

仕事には、量より質が問われる時代になった。「じっくり考えて良いアイデアを出し、行動に移す。そのために、心身ともに健康な状態にしておくことが大事」である。

■経営トップが旗振り役に

従業員は職場で自分の健康状態や持病についての話をしにくい。周囲に迷惑をかけたくないし、キャリアに響くことも恐れるからだ。だからこそ、「健康管理は従業員の自己責任」などと言うようでは、経営トップの見識が問われる。

日本ではこれまで、一部の意識の高い経営者とその重要性と効果に気が付いて、健康経営を実践していた面があった。だが今や、どの企業にとっても経営上の重要な課題となった。

日本全体が少子高齢化と労働力不足に直面し、働き方の転換や生産性向上を求められる。「企業が持続的に競争力を高めようと思うなら、健康経営の実践は欠かせない」と、経営者が意識を変え、「旗振り役」となって推進する必要がある。

国も健康経営銘柄の認定やストレスチェック制度の導入など、健康経営を企業に促す。現在計画されている医療保険制度改革では、企業の健康経営に関する取り組みの度合いに応じて、保険料の企業負担率が増減されることになる。

(出典：日経ビジネス 2015.6.15 No.1795)

「健康経営こそ労働生産性を高め、優れた人材を集める」

従業員が健康かどうか、企業の健全性を示す重要な視点である。

現在、生活と労働のバランスをはかり、健康に生活すること、そして健康な企業をつくることが求められている。心身ともに元気に働ける社員を増やして、労働力の確保、労働生産性向上をはからなければならない。

健康経営とは、突き詰めていけば従業員が、「生きがい働がい」を持ち、生き生きと前向きな姿勢で働ける「場」をつくることにほかならない。この「場」をつくるのが創造生活である。

社会経済秩序のもと、家族によって営まれる家庭生活にある。物心均衡し、外に開かれた創造的生活こそ、生活者経済の原点である。

従業員と事業者の信頼関係を構築し、コミュニケーションを確立し、健康経営に取り組んでいただきたい。

<日本創造経営グループの取り組み>

- ・毎年11月に健康診断実施、12月に保健師による健康診断のフィードバック
- ・企画管理部にて、全社員の健康状態の把握と健康管理（二次検診も含む）
- ・各人健康目標を立案し、事業部単位にて、チェック・管理・推進実施
- ・40才と45才、50才以上は2年に一度、人間ドッグ受診

<健康経営に関する4つの誤解>

- ①健康診断の受診率が100%なら安心・・・健康のために生活改善に取り組むこと
- ②健康経営にはお金がかかる・・・業務を見直し、予算を積み増さずに健康経営へ。戦略的に活用
- ③「ストレスチェック」は予防に効く
・・・ ストレスチェックは、個人のストレス状態と企業風土も浮き彫りにする
個人の問題と捉えず、職場の課題を解決する姿勢が必要
- ④1年も続ければ改善効果が表れる・・・中長期的に辛抱強く続けることが重要